

いがまち図書館だより【2024年春号】

少しずつ葉の色が鮮やかな緑色になり、図書館横の水辺にも春の訪れを知らせに、シラサギが来ていました。そんな図書館でぜひ、新しいスタートに合う本を見つけてみてください。

◇ 春におすすめの本 ◇

『ことばのくすり 感性を磨き、不安を和らげる33篇』

稲葉敏郎//著 2023 490.4/1



人は言葉によって大きく影響を受け、行動や感情を揺さぶられることも多いです。しかし、その言葉によってポジティブな気持ちになればあなたにとって言葉は良薬になるかもしれません。33篇からなる、不安を軽くすることばのくすりが本になっています。

『コアラのなみだ だれもいなくなったユーカリの森のこえ』

今西乃子//作 水野哲男//監修 サトウユカ//絵 2022 913.1/1



実際に起きたことを元に書かれており、大火事から生き残ったコアラ親子の物語は、環境問題や人間と動物の共生についてやさしく知ることができます。また、全ページにルビと絵があり、SDGsの最初の一冊としても読みやすくなっている本です。大人の方も読みごたえのある内容となっています。

『赤ずきん オオカミのひみつ』

ジャン・リュック・ビュケ//作 大澤千加//訳 2017 Eビ



おばあさんに替わって赤ずきんを待ち準備するオオカミ。
いそげいそげ！時間までにしたくができるかな？
物語と一緒に時計の読み方も学べる一冊になっています。また、「赤ずきん」のお話とあわせて読んで頂くと、両方の違った視点を楽しんで頂けることでしょう。

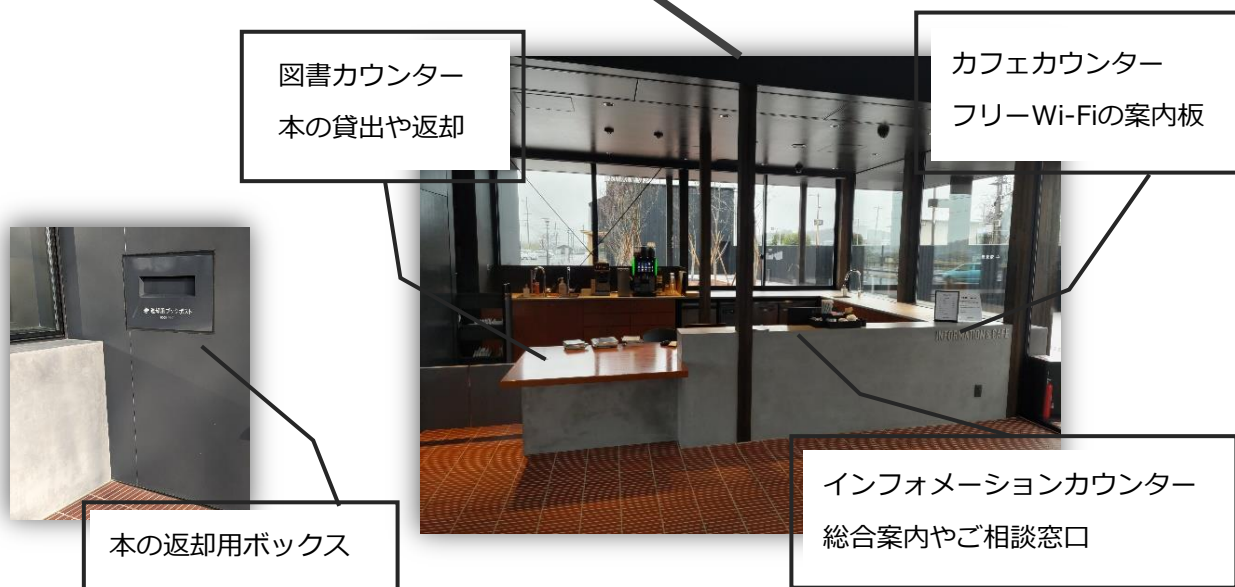
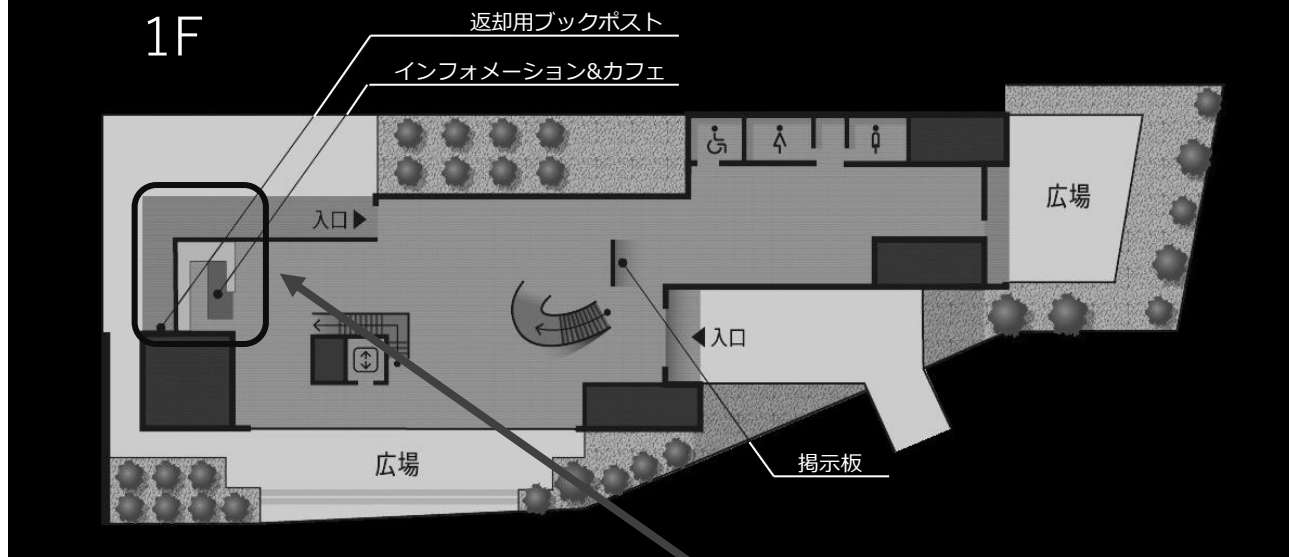
『なにがあってもずっといっしょ』

くさのたき//作 つじむらあゆこ//絵 2016 913/ク



主役の犬サスケの目線で描かれた世界。サスケが周りの人や動物と接して行く事で、信じる気持ちや感謝の気持ちを知って成長していくストーリーは、だれかの思いやりや優しさの大切さを学ぶきっかけになるでしょう。読みやすく小学低学年の読書課題にもなった本です。

BOOKMARK STORAGE 館内マップ



ご利用にあたって

1. 携帯電話はマナーモードに設定し、館内での通話をご遠慮ください。
動画や音楽の視聴はヘッドホン(イヤホン)を使用してください。
2. テラスも含め、館内での食事、席取りをご遠慮ください。書籍や展示物を誤って破損、汚損してしまった場合はスタッフにお知らせください。

BOOKMARK STORAGE いがまち図書室

TEL 070-2242-3671

〒519-1416 伊賀市新堂313-19

営業時間 9:00~21:00 年末年始(12/29~1/3)を除き、無休